

総務企画常任委員会活動報告

当委員会は、「ごみの再資源化」をテーマとして、令和4年12月14日、まちづくり課職員同席のもと、下野市の株式会社ウィズウェイストジャパンの視察研修を実施しました。

施設では、ペットボトルやプラスチック製容器包装のリサイクルが行われており、これらの再資源化に取り組む高根沢町など、県内外から十数市町のごみが持ち込まれていました。

県内の焼却施設は、熔融炉が多く、廃プラスチックを燃料として必要な設計となっているところが多い現状ですが、海洋プラスチック問題や資源循環のニーズを踏まえ、リサイクルの重要性を再認識し、今後の行政に生かす必要があります。本市が抱える問題に向き合い、しっかりとリサイクル行政に移行していかねばいけないと感じた視察でありました。

総務企画常任委員会 委員長 滝口貴史



リサイクル事業についての説明を受ける委員



ペットボトル等の再資源化の流れを見学